



震災を忘れない・・・

今日は何があった日かは知っていますよね。4年前の2011年3月11日に死者：15,889人、重軽傷者：6,152人、警察に届出があった行方不明者：2,594人も被害がでた東日本大震災が起きました。



みんなも小学生だったので、記憶に残っていると思います。先生も大学3年生の時に部活をしているときに地震が起きたことを鮮明に覚えています。離れた愛知県でもかなりの揺れを感じたので、被災地での揺れは想像を絶するものです。東北大学の友人に話を聴くと、最初はめまいかと思って、その後は自分の身を守ることで精一杯だったそうです。また、揺



れの影響で吐き気や頭痛が続いたそうです。

さて、実際に被災していない私たちができることは何があるのでしょうか？先生は、今みんながやれることは何が起きたのかを知り、それに対してどのように対応するのかを考えることだと思います。歴史を学ぶことの一つとして、同じことを繰り返さないことがあると思います。ただ情報を知るだけではなく、それをどのように活用していくのがとても大切です。3年生のときに行く淡路島では、みんなが生まれる前に震災が起きていますね。3学期に調べ学習を総合2でして、どのように防災・減災・起きたあとの対応をしていくのかを考えましたね。その調べたことをもとにして、記憶に残る教訓にしてほしいと思います。日々過ごしているときは、いろいろな情報かもしれませんが、震災はいつ起きるのかわかりません。そんな1分1秒を争うときに、知識や対策を知っているかで極端に言うと生死が変わってきます。後悔は先にはできません。今やれることは、今やりましょう。



最後になりますが、朝のSTで黙祷を行いました。午後2時46分が、実際に地震が起きたときなので、時間がある人は1分間の黙祷をしてほしいと思います。

明日の予定
3月12日(木) 5限：委員会 部活なし
☺英語 ☺国語 ☺理科 ☺数学 ☺委員会

修了式まで



作：尾田美咲子

ニュースタイム

低気圧ほとんど停滞 あす12日にかけて強い冬型続く

北海道付近にある低気圧はまもなく発達のパークを迎える見込みだが、動きが非常に遅いため、あす12日にかけて強い冬型の気圧配置が続くとみられる。引き続き、大雪や暴風雪、高波などに警戒が必要だ。

低気圧の発達に伴い、日本付近には非常に強い寒気が流れ込んでいる。寒気は西日本まで南下しているがピークを過ぎつつあり、今後はゆっくりと北へ退いていく見込みだ。北日本や北陸ではあすにかけて引き続き警戒が必要となる。

あす朝までに予想される雪の量は多い所で、北陸80センチ、東北60センチ、北海道・岐阜50センチ、関東甲信の山間部40センチ、近畿北部20センチ。近畿中部や東海の平地でも、きょう11日昼前にかけて雪が続く所がある見込みだ。

ウェザーマップ3月11日 寒さ対策をバッチリと！！